

理事幹事が率先して

変化の一步を踏み出そう

~2010年度理事幹事研修会を開催~



(三井氏)

6月11日~12日に猪の倉温泉にて2010年度の理事幹事研修会が開催されました。この理事幹事研修会は毎年の活動方針の確認や同友会運動の歴史や理念を学び、

それぞれの支部活動や委員会活動をより豊かなものとするために開催しています。また、各支部での活動の進め方や活動内容を話し合うことにより交流も深まります。

今年度の研修では、第1講に成川事務局長から同友会運動の歴史と理念と題して第2次大戦後の混乱期からオイルショック、バブル期などを経て同友会の理念や3つの目的が作られるまでの過程や、それぞれの時代における活動内容、また同友会がどのように発展・変革してきたのかを学びました。その中で理事・幹事として同友会運動の中で求められている役割を学びました。また第2講では、三井副代表理事から自社や自らが同友会運動と関わる中で何を学び、その学びを自社に取り入れて企業を発展させてきた実体験を報告いただきました。

研修終了後も懇親会や部屋別での交流会を通じ、日頃の課題や悩みを思い切り語り合いました。

「理事・幹事研修会に参加して」

6月11日・12日に開催されました2010年度理事・幹事研修会に参加させていただきました。服部代表理事、成川事務局長より、理事・幹事の役割、また歴史を紐解いた中での理念を勉強させていただきました。同友会活動の計画・段取り等の世話係りはもちろんですが、同友会の一つ目の理念である「3つの目的」、よい会社、よい経営者、よい経営環境をつくることを、一般会員様よりも早く近づくように実践することが大事な役割である、ということが非常に印象的でした。二つ目・三つ目の「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」は自社において、この理念が成り立つ環境・状況を作り上げることができると、経営者・社員が一丸となった集団となり強い力を持てる会社になると感じました。また地域経済を担う役割を持っている誇りある企業になれるのだと強く感じました。自社においても学生服・制服という公共性のある社会的意義の高い商材を取り扱っている中で、四日市・三重県北勢地区・三重県の中で、誇りある企業になれるように頑張りたいと感じました。

東海衣料(株) 近藤大輔

支部例会だより

中勢支部 6月例会

テーマ

企画力で勝負。

四日市の飲食市場に挑戦！！』

～家族と社員の総力戦で

「たまゆらグループ」10店舗をオープン～

報告者 佐野 貴信氏

(株)サノプランニング 代表取締役



(佐野氏)

6月の中勢支部の例会は、四日市で「たまゆらグループ」を展開してみえる(株)サノプランニングの佐野社長をお迎えしての講演でした。佐野社長は20代のころから30歳で独立して飲食ビジネス事業をするという人生ビジョンを立てられながら仕事を続けられ、28歳のころから独立に向けて準備を進められ独立されたそうです。独立されてからも幾多の問題に立ち向かい、解決しながらビジョンに向かって進んでこられており、現在も5年計画を立てられ、10業態以上・30店舗・年商20億を目指して実行されているバイタリティーあふれる活動には敬服しました。

またお話しを聞き、飲食ビジネスで現在四日市駅を中心として業態を変え10店舗を運営され、利益を出されている仕組みづくりに納得！事業展開を10年間でこれだけのスピードで実行され、それに伴う幾多のトラブル、失敗談の事例も、私自身すごく参考になりました。

会社経営では人、もの、情報と言われますが、人を創ることで店を創り、会社を創る攻めの経営をする上で、特に人間関係の大切さとネットワークが必要なこと、各店舗ごとに変動費・固定費を係数管理することで、よりスピーディーな成長戦略が可能になる事など事細かく説明して頂き、我社にも落とし込みができる事例がたくさんあったことに感謝しています。

(有)野瀬商店 野瀬岩朗

南勢支部 6月例会

テーマ

『全社員経営を目指して』

報告者 小林健一氏

(株)ハヤシヤ商事 代表取締役



(小林氏)

三重県中小企業家同友会の創立者の一人である小林社長に経営計画を実践・継続してきて、どの様に会社が変わってきたかを伺いました。

中小企業家同友会に入会したきっかけは商売の先生が必要だという事で1981年5月愛知県中小企業家同友会に入会し、前事務局長の高橋氏達と1983年9月に三重県中小企業家同友会を立ち上げられました。

会社設立と同時に経営計画を実施し、今年で25期目、社員研修会は19回開いてきました。

当初は経営方針セミナーに参加などして真似事から入り、9期目以降は『方針テーマ』を明確するようになり、社員の自己課題(具体的な課題、目標と方法)を出すようになってきました。

社員研修会ではグループ討論・報告など実践してきたことで今では社員が自社を分析し、自社の強み、弱みを言えるようになってきたようです。やっと社員自ら動き出して来たと言っていました。

人間の知恵にはマニュアル化できるものできないものがあり、マニュアル化できるものは必ずする又、できないものは指導していくようにしている。

我が社も同友会型の経営と経営計画、社員研修を積み重ねる事により1歩・2歩と前進出来るよう頑張らなくては行けないと痛感しました。

大変勉強になりました。

(有)アンドウセンイ 安藤 茂樹



シリーズ「同友会と私」第32回

「同友会と私」

(株)イナトウ 稲垣孝彦



(稲垣氏)

うちわ屋のイナトウ稲垣です。同友会に入会をして20年以上経ちました。年齢もこの7月で55歳となります。

その間、なんと歴代の支部長10人の基、幹事を10数年させて

頂いております。始めの内は稲垣君若いから幹事をしてシッカリ勉強してと、お誘いを頂き、30代の頃をつい思い出してしまいます。これは、現在の30代の若い幹事さんを見ている時ついオーバーラップしてしまいます。

最近では、稲垣さん長いことやって頂いているので、幹事会でご意見番として頼みますと、どっかの政党の渡辺さんみたいなものでしょうか?!でも私にとっては、とても刺激的で若い人から勉強をさせて頂く良い機会を頂いております。

正に、知り合い・学び合い・助け合いの活動をすすめ経営体質を強化しようという同友会の基本理念を私は大変同友会活動を通じて体得できました。

そこで、これから20年30年と同友会活動をされるみなさまに一言申し上げる事は、仕事が忙しかったり、体調が優れない時、また他の団体の役席等でどうしても同友会に出席できない場合は、遠慮なく欠席してもOKです。それが一年続いても安心して下さい。大丈夫です。私もずっと同友会に居るように思われますが、実は2年近く休眠していたこともあります。休眠後久しぶりに同友会に参加した時本当にみんなから2年分纏めて声を掛けて頂きました。もの凄く喜んで頂いた事が忘れられません。その時ヤッパリ同友会っていいなあ~と motto 学ばなければと・・・

そんな私の経験から、同友会は何歳からでもどんな業種でも、どんな事業規模でも平等に迎えてくれます。バズセッションになればそれが本当に良く判ります。

と、言う事で、若い会員のみなさま是非とも幹事になって頂き、更に同友会を楽しんでください。

これからも一緒に勉強していきましょう!みなさまずっとこれからも宜しくお願い申し上げます。

第38回青年経営者全国交流会

「なせばなる！」

~ 想いをつなぎ新しい時代をつくろう! ~

日時：9月9日(木) 13:30開会

~ 9月10日(金) 11:40

会場：ホテルメトロポリタン山形 他

参加費：20,000円(交通・宿泊費別)

参加申込は同友会事務局まで連絡下さい。

採用に役立つ事業のご案内

業務適性診断テスト

業務適性診断テストは、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

検査料 1人 1,400円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、1,000円)

知的能力診断テスト

知的能力診断テストでは検査の結果から言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

検査料 1人 1,200円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、800円)

詳しくは、同友会事務局までお問い合わせ下さい。 TEL 059(351)3310

宮崎県口蹄疫被害義援金 ご協力をお願い

皆様もご承知の通り宮崎県で発生拡大しました家畜伝染病『口蹄疫』の被害は、予想をはるかに越える大きな事態となっています。

三重同友会では、この事態は宮崎県だけに留まらず、日本経済にも多大なる影響を与える事態と捉え、第3回理事会において宮崎口蹄疫被害義援金募集に取り組むことといたしました。

つきましては、皆様には主旨をご理解頂き暖かいご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



義援金受入金融機関 三重銀行 本店
 口座番号 (普通) 1823390
 口座名義 三重県中小企業家同友会
 宮崎県口蹄疫被害義援金募金
 募金額 特に、指定はありませんので
 ご協力頂けるだけで結構です。
 募金受付期間 7月5日(月)
 ~ 7月23日(金)
 三重銀行本支店間(窓口及びATM)での
 お振込に限り手数料は免除されます。

西日野にじ学園見学懇談会報告

今回共同求人研究会は、初めての試みとして、特別支援学校西日野にじ学園の見学と先生方との懇談会を開催しました。

当日は、高等部で行なわれている製菓・さをり・ビーズ・窯業・木工等九つの作業学習を見学し、その後先生方との懇談会を行ないました。作業学習ではそれぞれに役割分担をしながら、一つ一つの作業を丁寧に取り組んでいる姿が見られ、出来上がった作品を見ても十分な仕上がりのものが多くありました。また懇談会では企業側参加者の多くの方が初めて特別支援学校を訪問したこともあって、これまで持っていたイメージが大きく変わったことや雇用を含めて企業としての取り組みを進めていくなどの感想や意見が多く出されました。一方で受入にあたって、まず社内でのコンセンサスを図ることや作業環境を整えることなど課題も挙げられました。

また先生方からも、業種や業務内容また規模や環境など企業によって状況が異なることの認識や就労を意識した学習指導の見直しなど新たな一歩に繋がる機会になったとのご意見を頂きました。その上で、今後も企業訪問の受入や現場実習の受入などの協力連携を進めていくことが話し合われました。

経済環境は厳しい状況が続いていますが、企業だけでなく地域の将来も含めて考え、作業の委託・企業での現場実習など関われることから考え取り組んでいく必要があります。そのためにも思い込みや想像だけでなく、一度障害者の方々の方々の生の姿を見られることをお勧めいたします。

〈同友コラム〉

エリートクリーニンゲ(株) 森川謙作

こども手当で、高速道路無料化等の政策を打つための財源をどうするかが注目を集めています。色々な方法があると思いますが、概念的に大きく分けると以下の三つでしょう。

一、未来の日本国民から前借りする方法。典型的なものは赤字国債の発行です。子供手当のために子供から借りるような話なので、若干理屈的には矛盾があります。

二、今の日本国民全員から薄く広く取る方法。典型的なものには消費税を上げることです。選挙との関係では難しいでしょうが、世界的には先進国の中で日本はもつとも消費税の低い国のひとつです。財政破綻していても円が売られない理由は、消費税が低い、即ち上げる余裕があるからだと言つ説も、海外ではあるらしいです。

三、支出を減らす方法。この十年間ほどで、国家予算の投資部門は増えていません。公共投資は逆に若干減っています。増えたのは費出です。そして増えた費出の大部分は医療費であり、その大きな部分は高齢者向け医療費です。もちろんこの案は、三つの中で最も物議を醸す内容です。

しかし大きく分けて、概ねこの三つかな。もちろん成長政策を打ち税収を上げるとか、それらのことはいずれにしてもしなければいけません。それでも尚、三つの方向の中から、苦渋の選択をしなければならなくなるでしょう。

子供もしくは生まれてない国民から借りるか、今の国民が出すか、高齢者の受給を減らすか。皆さんはどう思いますか？

自社ならどうしようかな???

各支部例会案内

桑名支部 8月納涼例会

テーマ『笑顔は心と体の特效薬』

日時 平成22年8月21日(土)

6:40~19:20

会場 なんばグランド花月

集合場所 桑名駅前サンファール

6:40 出発

講師 吉田 武司氏

吉本興業(株) 取締役

参加費 9,000円

定員 45名

北勢支部 7月例会

テーマ『人としての資質を高めよう』

~生まれてきた意義を見つめなおそう~

日時 平成22年7月21日(水)

18:00~21:00

第1部 映画鑑賞

『1/4の奇跡~本当の事だから』

第2部 講演

会場 四日市農協会館5F

JA第1ホール

講師 入江 富美子氏 映画監督

参加費 1,000円(中学生以上)

中勢支部 7月例会

テーマ『我社を取り巻く

経営環境の変化とその戦略』

日時 平成22年7月28日(水)

18:45~21:00

会場 アスト津 研修室A

報告者 藤川 勝彦氏

(株)旭鍍金 社長

伊賀支部 7月例会

テーマ『(未定)』

日時 平成22年7月23日(金)

19:00~21:00

会場 伊賀上野交流研修センター

講師 伊藤 隆氏

伊藤会計事務所 所長

南勢支部 7月例会 (合同例会)

テーマ『地域経済活性化に向けた

尾鷲グループの取り組み』

日時 平成22年7月20日(火)

18:30~20:30

会場 尾鷲商工会議所 3F会議室

集合 17:00 吉川建設

乗り合わせで尾鷲まで

講師 (未定)

尾鷲・熊野グループ 7月例会

(合同例会)

テーマ『尾鷲の今後について

尾鷲商工会議所職員と語る』

日時 平成22年7月20日(火)

18:30~20:30

会場 尾鷲商工会議所 3F会議室

講師 (未定)

第3回理事会まとめ

1、各種報告事項

中同協第4回幹事会の報告（略）

第1回合同企業説明会及び西日野にし学園見学懇談会の報告は、西村共同求人委員長より別紙内容が報告されました。

・合同企業説明会では、274名の参加者があり、現在の厳しい雇用情勢を反映した結果となりました。一方で参加されている学生の意識格差や素養の低下が浮き彫りとなり、企業の採用選考において対象となる方が少なくなっていることが挙げられました。また秋の合同企業説明会の開催については、企業の求人意欲の低下から参加企業の確保が課題となっており、積極的な参加の呼びかけを図ると共に開催の有無も今後検討していくことが報告されました。

・また西日野にし学園への見学懇談会は、これまであまり議論されていなかった障害者雇用について考える良い機会となりました。

今回の繋がりを活かして、単に雇用というだけでなく、企業見学の受入や委託作業の発注など企業としての関わり方について、今後につなげていくことが大切ではないかということでした。

就業規則見直しセミナーの報告（略）

2、正副代表理事会議の報告

天白副代表理事・成川事務局長より報告され、各社の現状と課題についての意見交換を行ないました。主な意見は以下の通りです。

また宮崎県での口蹄疫被害に対する義援金募集の提案があり、承認されました。

（ニュース4面参照）

・製造業を中心に回復の動きが出始めているが、投資や雇用の面はまだ回復していない。一方で中国では大型コンビナートの開

発計画などの動きがあり、地域や企業への影響も考えながらグローバルな視点で情報を集めていくことが必要となっている。

・配送の見直しや販路拡大など様々な取組が行なわれており、徐々に従来の形態から転換が図られている。今いる自分の業界から違う業界を見ると全く違った世界が見えてくる。商品・サービス・技術など違ったチャンネルでの展開を考えていくことが生き残りのためにも重要となっている。

・新たな商品やサービスの展開をはじめ新しい動きが始まっていますが、活動方針でもうたわれている通り、チェック機能の強化とフォローの徹底が最も大切です。

3、各委員会の報告と提案

総務委員会

会員名簿の「生年」表示について、会員とお会いしても年齢がわからないため、せめて名簿に「生年」だけでも載せてほしいとの要望が多くあり、次年度より「生年」を記載することとし、削除希望者は校正の段階で申告して頂くこととしました。

第18回経営研究集会の予算について別紙の通り提案があり、承認されました。

4、22年度各支部方針の確認（略）

5、前回理事会以後の活動報告（略）

新会員のご紹介（敬称略）

（22.5.21～22.6.22）

^{ほり}堀 ^{てつや}哲也（株）ホンマ商会
津市森町2213-3
課長
059（254）6681
業種 産業機械・鉦山機械卸売業
中勢支部 紹介者：京都同友会

会員変更

^{しみず}清水 ^{しげし}茂司（株）スポーツインフォメーション
代表取締役
北勢支部 旧会員 竹岡 眞博